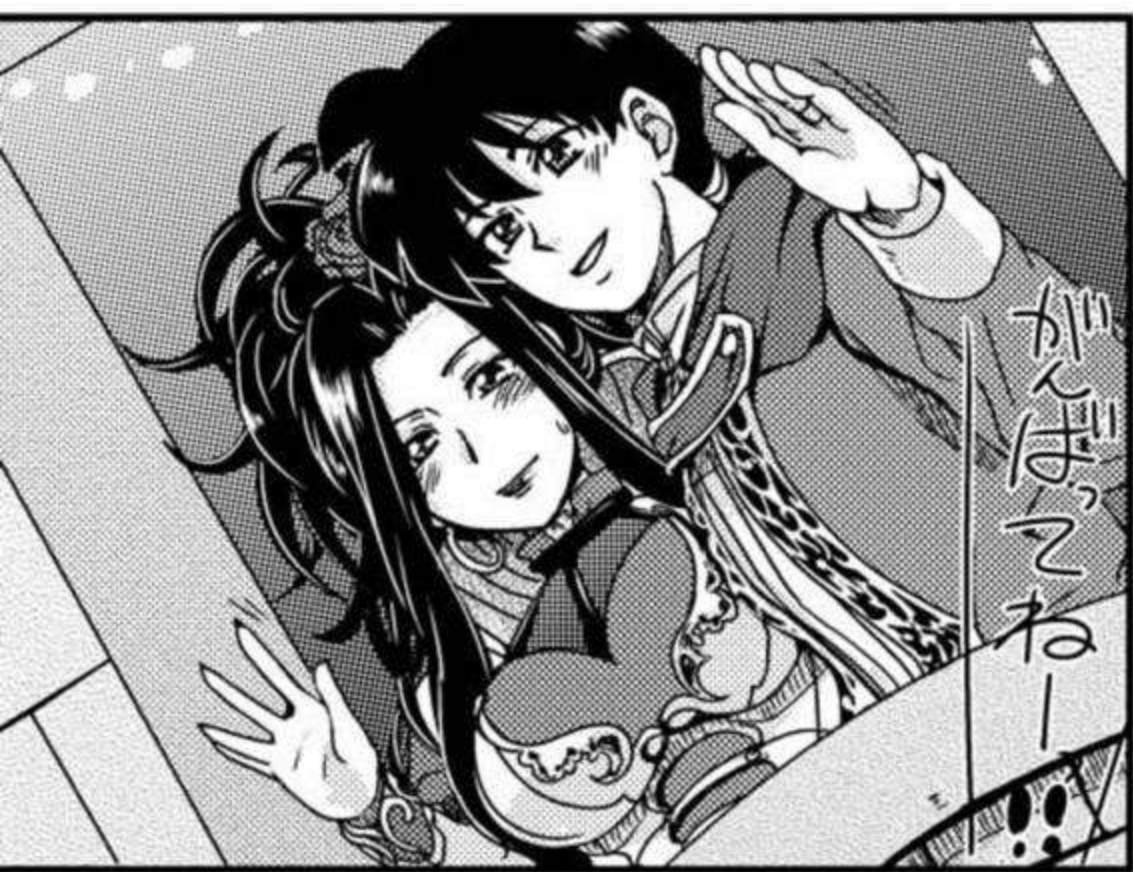




クワッ
クワッ
クワッ

ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ





…はあ

…あっ

あっ

あっ

ギ

ギ

ひどい
父親ね…

まだ陽も高いうちに
仕事も放りだして



私に夢中♡

当然と言えば
当然の流れで



なのにあんたは

今頃は真面目に
勉強してるかしらね



あの子たちの顔
ちゃんと見た？



ずっと戦い続ける
人生だったんだもの

世界を救ってしまっ
ほどのエネルギーは
行き場を失っていて

その生き方が
この平和になった世界で
急に抑え込まれれば
戸惑いが生じる



一日中してても
収まらないほどに
盛りがっている♡

大きな
赤ちゃんね♡

それなりに大きな
子供がいるとはいえ

私以外の誰にも
それを受け止めること
なんて出来ないわ♡♡



くっ♡んん♡

うんっ…
ああっ♡

だけど

石化のせいで
若さもまだまだ



…ダメよ

二人以外に
子供はつぐらない

避妊呪文はかけてあるけど…
中で出すなら確認はするのが
決まりでしょ？



また…

約束が一つ

言わなかったわね



お互い納得した上での
決まり事は最初こそ
素直に守られていた

あん♡

いいわ♡

ふっ…♡

メポッ

メポッ

ところが…本当には想像
出来ていなかった平和を
理解し始めたせいなのか

ウ♡ウ♡♡♡

ア♡もう
生意気だわ
♡♡♡

主人に乱暴して♡♡

産ませたい—
その本心を隠そうとも
しなくなっている

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡



私が止めるのを
分かってるから…
私が止める範囲でだけ
やるパフォーマンスな
反抗の意思

はああ♥
あっスゴ…♥
後ろかうっ…♥

おっ…♥
おっ…♥



うっ…♥
うっ…♥

ズン
ズン
ズン



一度したから
分かってるのよ

ズン…♥



ズン…♥
ズン…♥

ズン
ズン
ズン



あんたが
本気を出してない
ってことはね

確かに...

「私が育てた」
と言い切るには

いい子すぎるわ



息子はともかく
娘の方は

だからって
また産んでやり直し
なんてこと
出来ると思う?

私たちはそれで良くて
自分が与えられなかった
親との時間をあの子たちに
見せてしまうのは酷だわ



結局私がマトモなら
この境界は守られる



まさかその頃には私の
美しさが衰えるとも?

領いたら
殺すわよ



今はうんと
甘えさせても
いつかは親離れ
だってする

それからでも
いいじゃない





うるさいわねっ
 こんなもの
 いきなりぶちこむ
 つもり?

カリ



呆れた…いつもより
 大きいんじゃない?



別に萎えさせる
 って言ってるわけ
 じゃないのよ

ただそれなりの順序って
 ものがあることくらい
 分かるでしょ



口に含んだだけで…

はあ…あ



さすがに
 自分でもすくみを隠せて
 ないのが分かる

しょうがないじゃない
 こんなおたけび…想像と
 実物じゃ全然違うもの

ホント…
 おおきい…

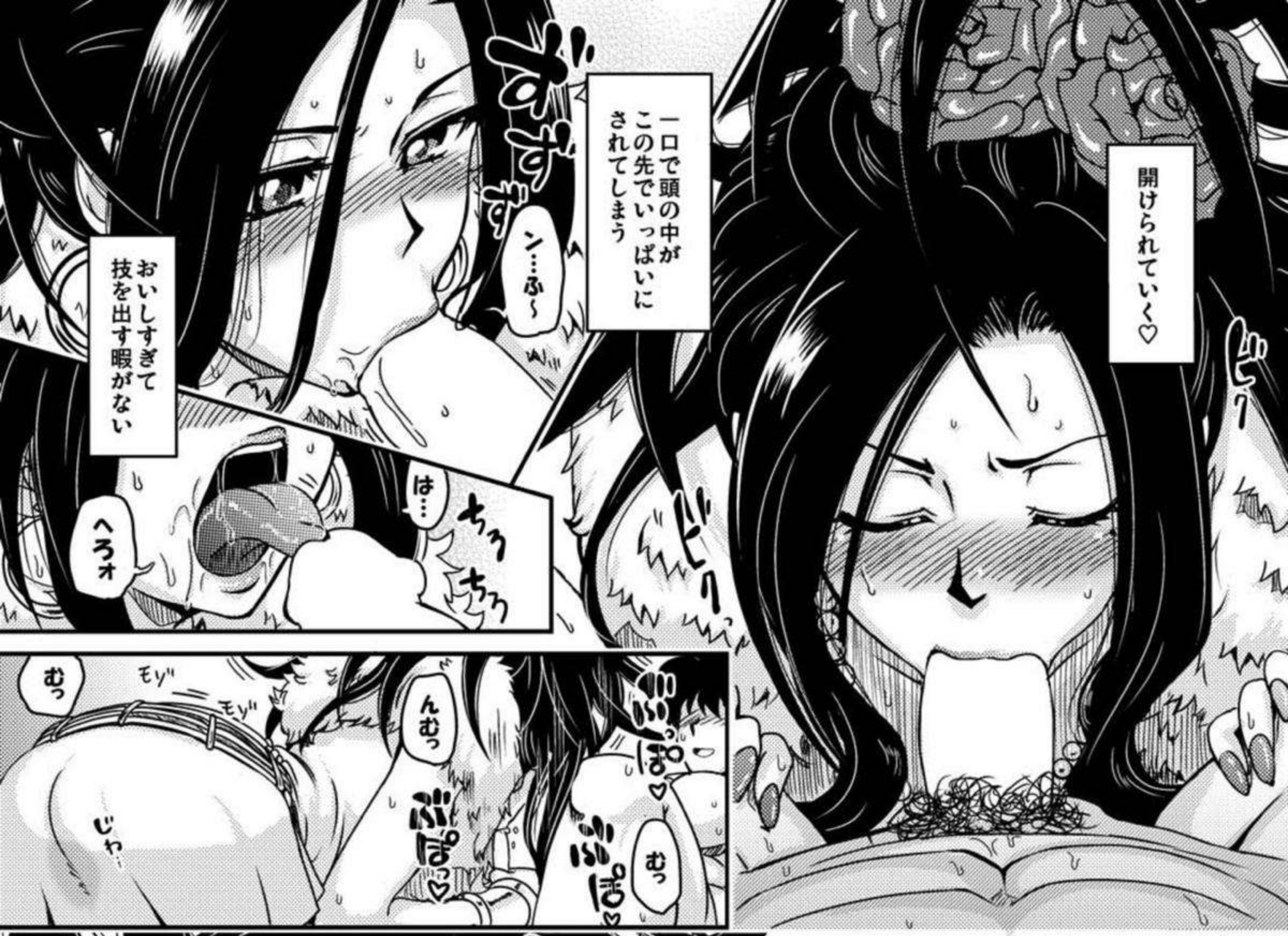
ドン

ドン

ドン

ドン

ドン



開けられていく♡

一口で頭の中が
この先でいっばいに
されてしまう

おおおお
いっばい

おいしすぎて
技を出す暇がない

へろオ

は...
ちゅ
ちゅ



むっ

モッ

モッ

んせっ

せっ



来る...!

！バカじゃないの?!
最初から急にこんな
みせつけるほどの量...っ
こぼしたくないのに...♡

んっ♡



ふほ♡

嫌だわ...こんな
がつついてるだけ



は...ああ♡

でも感じるわ
あんたも我慢する
つもりはないのよね





おっばいが
犯されてる♡

ん♡ 凄いつ

必死な顔して♡

私の顔をどれだけ汚して
やろうか考えてるのね

いきそうなのが
よく分かるわ♡

いいわよ
射精しなさい

深くて重い毒が

…はあ…強烈♡

どんな香水も一発で
上書きされそうな
匂いだわ♡

まわる—

目の前に広がる
アタマが置き去りに
された状況に

言葉を失っていた

こんなにも間抜けに
出来上がっているカラダを
自分で曝してしまっている

今の状況を認めて
取り繕うより早く
その腕が動いた

見ないふり…
いつも通りを装った
その行動に安堵を
覚えたのを束の間…

この状態で

なおいつも通り

一手深く刺さるそれを

追い込みと分かってても
逃げられないように
したのだと
気付かされた



呪文で声を封じれば
絶叫をあげてこの快感を
逃がせるかもしれない

すぐそばからそれが
間違ったと分かるのに
それ以外の手段がない



愛撫に沈んだ
あんたの顔に

まだ立て直す
ことが出来る
と思ってしまった



それでも…
バレなければ—



静寂は蓋となる耳に
自分がどれだけの叫びを
あげているかを見失わせ

私の中に溜めこまれた
カタマリはその大きさを
妨げられることなく
アタマまで貫いていった



私は詰みにハマった



耐えることをやめ
悦びに震えるカラダが
何を伝えても手遅れ

降参する機会が
全て「見ないふり」で
先回りされていたことを
思い知ったまま

傍から見れば
どちらに主導権が
あるかは明白なのに

二人の間には依然
私を上とする力関係が
働き続けてしまう

んんっ♡♡
アアア♡♡

アア♡♡はあ
ア♡♡♡♡

ひっ♡♡♡♡

んん♡♡♡♡

強がりなんて装備は
外してされるがままに
逃げ出せたら...

あふ♡♡

ウウ♡♡♡♡



ちゃんとして...
エライわよ♡

だけどルールは
素早く回り込んで

そう...射せえ...
しそうなね♡♡



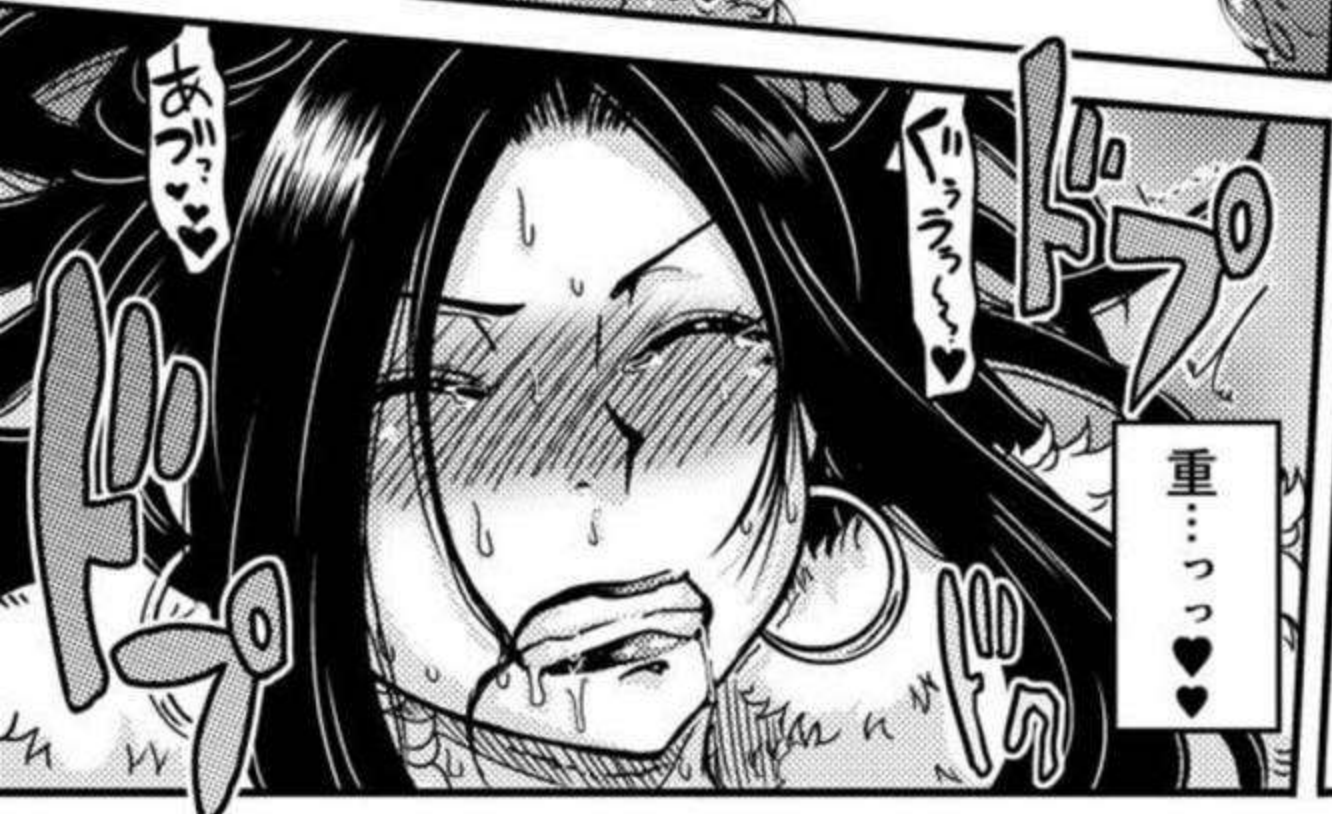
呪文をかける間にも
これから何が起るかを
容易に想像させる脈動...
そのスイツチを自分で押す
覚悟を強いてくる



アッ

アッ

あっ♡♡



あっ♡♡

アッ♡♡

重…っ♡♡



ドクン…

あ…あなまのっ…

ドクン

ドクン



おいしすぎる♡♡

おま●こがこの精子
飲みたがってるっ♡

アタマでかけた
呪文の愚かさを
わからせるように
ときめいて…♡♡



一っ
二っ

確かめるような
セックス…

ズル…



思い知らせるだけ
あんたは待てるのまま

まだ…
はじまった
ばかりよね♡

はあ…



これじゃ
脅迫だわ

ウグ…♡

ウグ

ウグ



ああ♡ああ♡
あっ♡♡

イイわ…♡あ♡
そのまま動くの♡

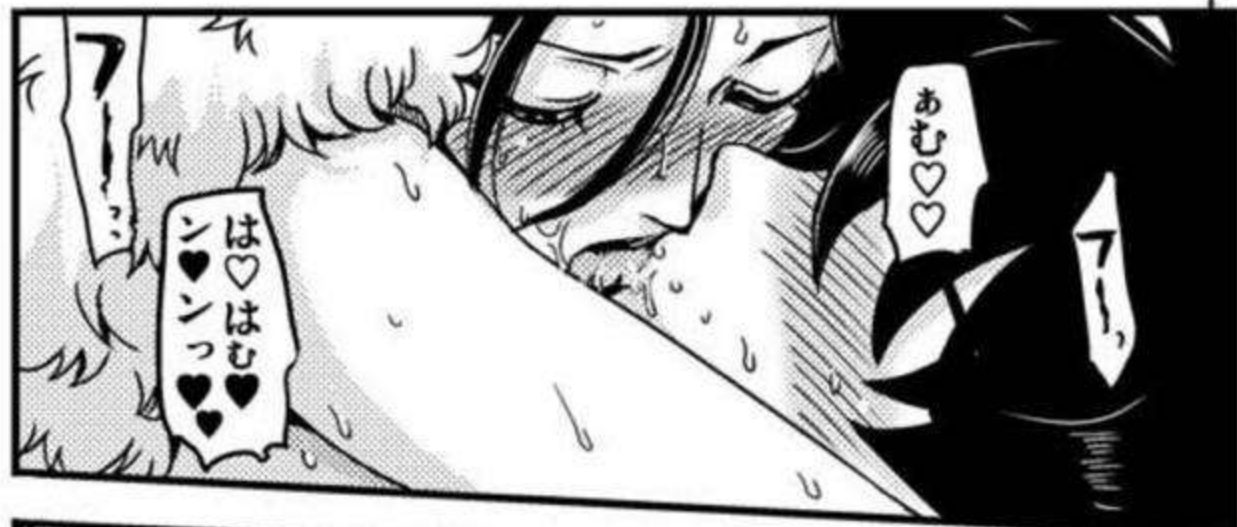
ウ♡
ウひっ♡♡

ア♡オオ♡



♡おん♡♡おん♡♡おん♡♡
♡おん♡♡おん♡♡おん♡♡

♡おん♡



あむ♡♡

は♡は♡は♡
♡♡♡



ん♡♡
数えるつもりもない
何度目かの絶頂を
味わった頃…
それに気付いた

ん♡♡

っは♡



子宮…♡精子が
暴れまわってる♡



呪文の守りを責めて
染み込んでいく…♡



時間が遅くなつたみたい

呪文？

ビーン



波が

ひかない



重なるように
さえ思える

次の快楽には
そのくせ敏感で



♡っあ♡ん♡



ズクズク

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

フ

おオオ♡
ニョニョカ

裏側から…♡

あ♡♡♡

あ♡あ♡♡♡

フホフホ

押す…♡
極太ザーメン♡
押されてっ♡♡♡

同時に♡
挿入っ♡
みた♡い♡ッ♡

ズム



大事な精液を
呪文で阻み
母乳も飲むのは
あんなだけ



このカラダが
持て余している
母親を刺激して…

コッチだって
分かり切ってるのに
意地が悪いわ

なくなっちゃう
じゃない♡♡♡



どうしようもなく
正直にされちゃった

…あぁ♡♡♡



徹底的なのね

はぁあぁ

ふぁぁ

ハハハハ



こんなこと...



はぁぁ



ああ...良かった

そこまでするんだ



はぁぁ

はぁぁ



ふぁぁ

ふぁぁ

鈍い流れをしたカラダに深い快感が打ち込まれていく

一つ一つ...重い残像を描いては次へ

マヌーサにかかったようにあんなの幻に抱かれる



あー…♡
キス？♡

おかしな気分
どれもあんななのに

オ♡オ♡
ん♡♡

あひ♡

そんなに
奪い合うように

私を貪らなくても
いいじゃない

ずっと♡イっ
きえないの♡



ふ♡ふ♡

んぼ♡

魔王を倒すために…
世界を救うために…
この世で一番強かった
あなたの決意

オ♡♡
オ♡♡

私を愛するため
だけに使わせるのは
悪くない気分だわ



でも

私をオとす呪文は
使うのに…

どうして？

どうして私の呪文を
解除しないの…？

ずっと

私に生ませたい
のだと思ってた



その手段に
躍起になっていると

そうだったの…

ここまで
きて

ようやく
気付いた

パチン

産みたかったのは



怖かったのね？

私の方だったんだ

私が子供を
我慢してしまったから

自分の人生の…
呪いのように思って

…バカね



あんたが
選んでくれた
あの時から後悔は
一度もない

私の望む全てを
手に入れたと
ずっと思ってる

最初から

でもそうね…
そう思ったことで
かえって守りに入って
いたのかもしれないわ

私たちの家族なら
何も恐れることは
なかったのよね



もう二度と呪文を
かけたりしないわ



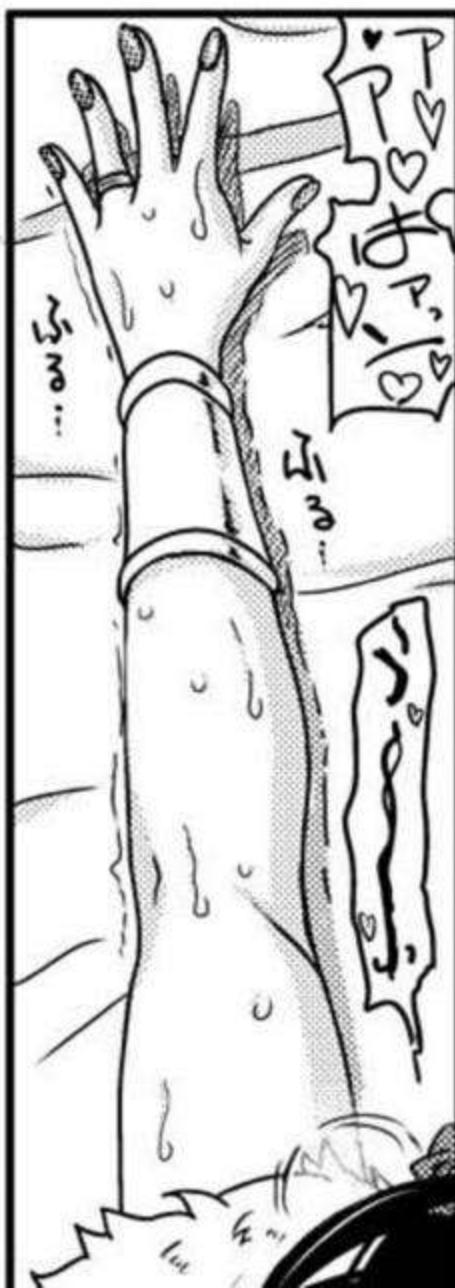
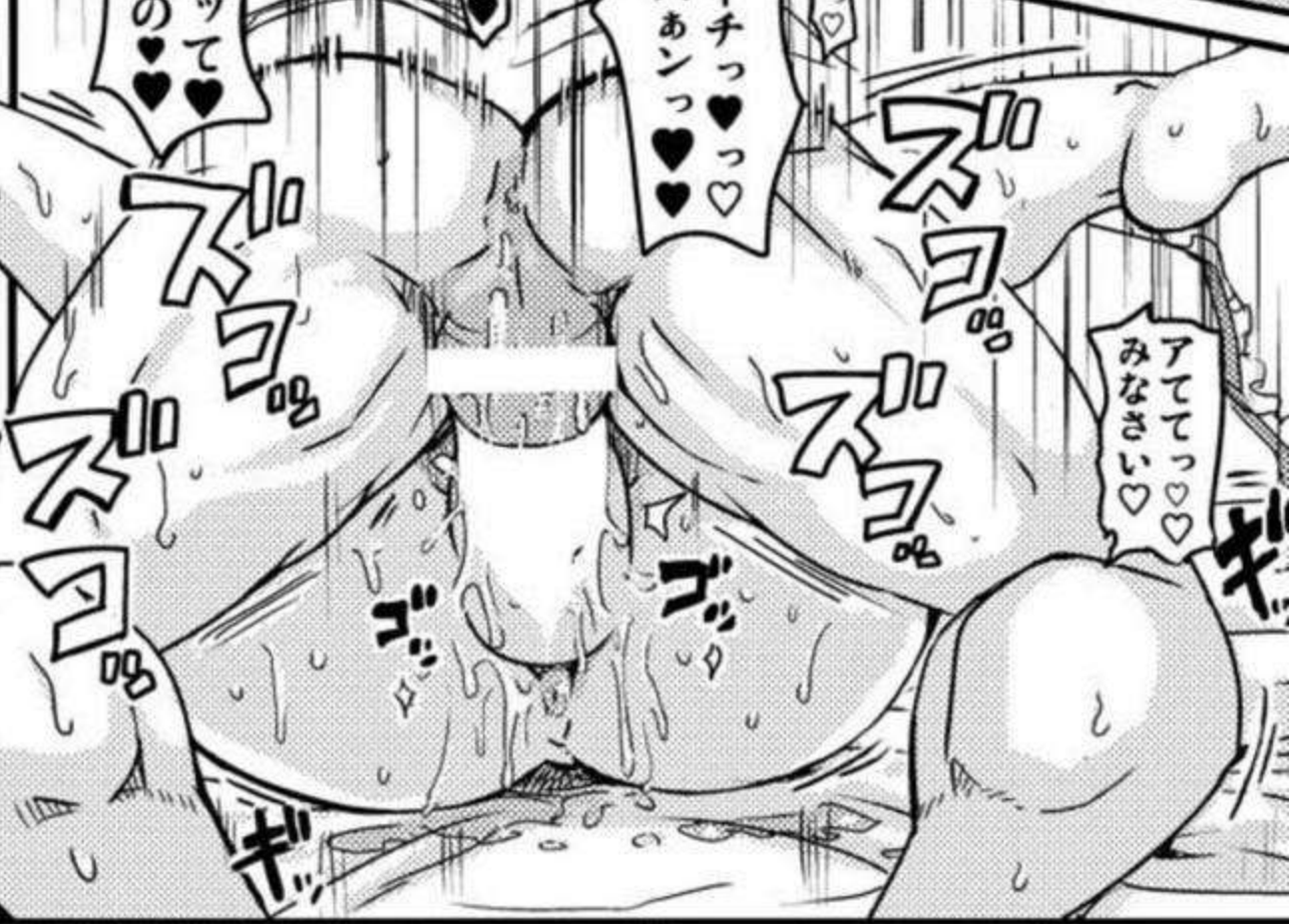
愛してるわ



ホッ…
ええ…
私もよ



あんたの子供を
産んであげる





おはよう
おはよう
おはよう

おはよう
おはよう
おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう
おはよう
おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう

おはよう





んゝ悪くない
座り心地だわ♡

バァ

バァ

あんたはやっぱり
私のためのしもべね



じゃあどうして
ここがどんどん
カタくなってるの
かしら？

なあにの？
苦しいの？

ギョギョ

ビュル

押しのけても
怒らないわよお？
ほらほらあ♡

アハハハ♡
アハハハ♡

ホント
おちんぼは
正直ねえ♡



必死すぎて
まるで聞こえて
ないわねえ♡

あーあー

手紙読む時間も
惜しいわね♡

『テルパドールに
お越しの際は是非
お立ち寄りください』

あそこの服って
エキゾチックで
意外と流行ったり
すると思わない？

ザーメンと一緒に
着てるみたいになんて
想像するのが好き♡

今度は
服の中まで？

私の全部に
マージングしないと
気が済まないのね

なんて
独占欲の強い
しもべかしら



はい
→ いいえ



この度は当サークル作品をお買い求め頂き
誠にありがとうございます。

出来れば本にして出したかったのですが
今回はDL作品としての
発表とさせていただきます。

皆さん

この世にはデボラを描いてほしい
作家先生が多すぎると思いませんか！
しかしながら2つの巨大な山を前にして
希望を抱くのは中々難しい。
そんな想いを感じて頂けたら
幸いです。

次に漫画を描く時には
また本で出せるように
頑張りますので
よろしくお願いします。

和口

奥付

ラブラブ
♡
グランバニア

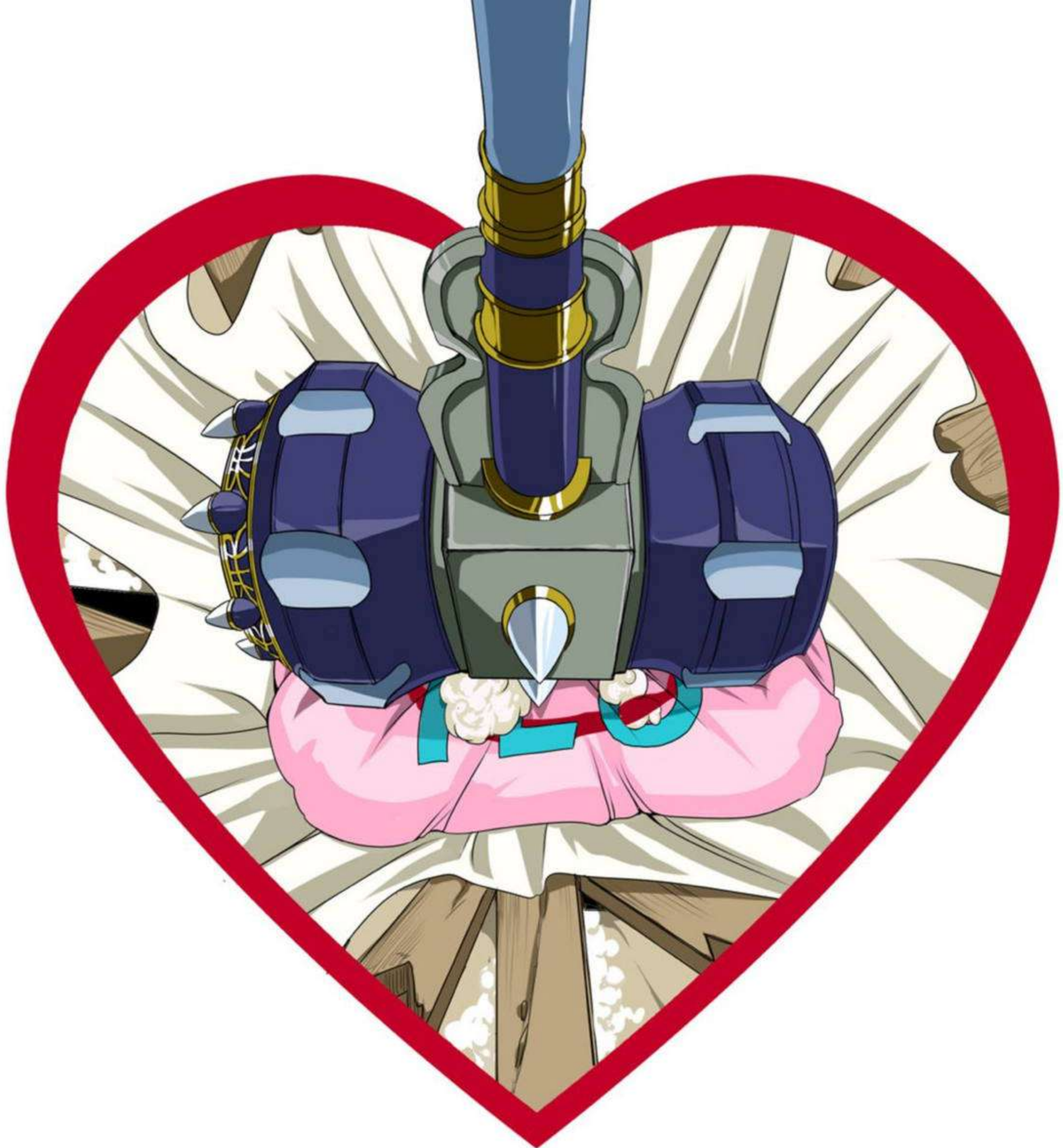
制作 ラブレボ
著 和口昇火

15/06/21

mail: lvr@hotmail.co.jp

無断転載・複製を禁じます。





LOVELOVE♡GRANVANIA

発行 ラブレボ

FOR ADULT ONLY

18歳未満購入禁止